

人間総合研究センター主催 **人間科学研究交流会**
-Current Topics in Human Sciences-
第 78 回

日 時:2024 年 6 月 12 日(水) 17:00~17:45 (約 45 分)

開催方法:Zoom によるオンライン開催

申込方法:以下の申請フォームからお申し込みください。

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=0z-mZwJDr998PPeIDJiSZA>

※申込期限は開催当日午前 10 時まで。(問合せ先 tokojimu-soumu@list.waseda.jp)

※当日の URL は、お申し込み時の返信メールに記載してお送りします。

話題提供者:人間科学学術院 助教 栗原勇人

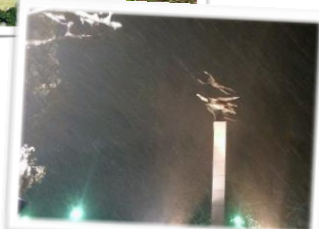
演 題:社会的インタラクションを支える神経機序の探求
: 個体間脳オシレーションの同期性に着目して

Exploring the Neural Mechanism of Social Interaction: Inter-brain synchrony Oscillations

【演題要旨】

わたしたち人間は社会で生きていく上で、他者と関わり合う（インタラクションする）ことは必要不可欠である。インタラクションをする中で相手と「息・波長・ウマが合う/合わない」と誰もが暗黙的に経験し、その重要性を感じているが、その科学的解明はほとんどされていない。これまで発表者は、インタラクションを支える神経機序として、インタラクションする 2 人の脳活動を同時に記録（ハイパースキャニング）し、「個体間脳オシレーションの同期性」に着目してきた。

本発表では、インタラクションにおける神経機序を解明する上で 2 個体の脳を同時に捉える重要性について説明し、それらに関する研究を紹介する。最後に、人間科学としてのインタラクション研究の今後の方向性について言及する。



【Abstract of presentation】

Social interaction is essential for their life. Everyone has experienced implicitly feeling that they "mesh well (息・波長・ウマが合う)" or "don't mesh well (息・波長・ウマが合わない)" with others during social interactions, and feels its importance. However, it is unclear that the explicit mechanism of these implicit experiences. In previous our studies, we simultaneously recorded the dual-brain activities during social interaction (i.e., hyperscanning) and focused on the "synchrony of inter-brain oscillations" as the neural mechanism of social interaction.

In this presentation, I will explain the importance of capturing the brains of two individuals simultaneously in elucidating the neural mechanisms of social interaction and will introduce some hyperscanning studies. Finally, I will discuss the future of social interaction research as human sciences.